

【機械・ロボット科2年】普通旋盤（テーパー削り）の実習



令和元年9月、機械・ロボット科2年生の実習において、普通旋盤の実習を行っています。

今回の実習では、内径テーパー削りを行い、前週に製作したオス・メスを組み合わせます。

旋盤とは

円柱状の材料を回して、バイトと呼ばれる刃物を当て材料を削る工作機械です。機械加工で最もよく使われる工作機械の一つです。

3つの重要な要素

旋盤加工において部品をきれいに、しかも能率よく仕上げるためには、回転速度、切り込み量、送りの3つを適切に調整することが重要です。しかし、これら3要素の設定値は、材料の寸法や形状、材質、使用しているバイトの種類によって異なるため経験が必要になります。